

教育委員会だより

「自主」と「共生」～自己肯定感

平成 30 年 4 月 24 日号 多治見市教育委員会 教育総務課

ようこそ多治見市へ ～転入教職員受入れ式～

4 月 2 日（月）とうしん学びの丘エールを会場にお借りし、「平成 30 年度転入教職員受入れ式及び辞令交付式」を行いました。

今回の人事異動で、多治見市内の小中学校に、新たに 52 名の教職員を迎えました。

＜転入＞
校長 6 名
教頭 5 名
教諭 29 名
＜新規採用＞
教諭 6 名
養護教諭 1 名
合計 52 名



転入職員を代表して、教育長より辞令を受けた、小泉小学校の木村校長は「多治見の空気の温かさを大切に思う。多治見を、多治見の子を好きになり、職員を大切にする」と笑顔で力強く決意を表明しました。

平成 30 年度は、市内 21 の小中学校 8,259 名（13 小学校 5,550 名 8 中学校 2,709 名）の児童生徒の自立に向けた育ちを、今回の 52 名を加えた、およそ 770 名の（非常勤職員まで全て含む）全教職員で支えます。ご理解とご協力をお願いします。（児童生徒数及び教職員数は 4 月 6 日現在）

養正小・苗栗市児童書画交流会



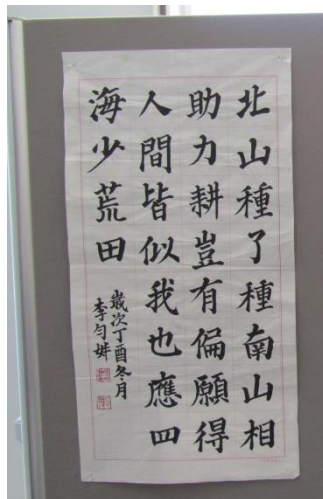
＜賞状を受けた二人＞

を授与されました。

その後、二人は、多くの参加者と共に、ゆっくりと作品を鑑賞しました。絵の題材や、色使いには、それぞれの国の特徴が表れています。作品を通しての異文化交流体験です。生き生きした表情で作品に見入っていた二人の目がひととき輝いたのは、書写の作品を鑑賞したときです。右上の作品は、苗栗市の小

4 月 19 日（木）、駅北庁舎 1 階ギャラリースペースで、「多治見・台湾苗栗児童書画合同展示会」の開会式が行われました。本年度は、養正小学校の児童が、本市を代表して、書写と図画の作品を展示しました。

養正小学校を代表して、6 年生の加藤さくらさんと大塚郁也さんがテープカットに参加し、苗栗ロータリークラブの会長から賞状と記念品



学校 4 年生の児童の作品です。見事な筆遣い、美しい字形とバランス、筆の勢い。日本であれば、大人の、それも相当の上級者の手になるものだと解説されて誰も疑わないことでしょう。

「漢字を基本とする国の子どもたちの字だとしても、あまりに見事。小学校 4 年生が、この書写作品をあらわすことができるノウハウを是非学びたい」開会式に参加された、養正小の中川和人校長先生の言葉です。

こうした異文化交流による感動体験を通して、一人一人の内に培われる学びの心も、今後の社会を生き抜く子どもたちにとって、大切な資質の一つです。お世話いただきました多治見西ロータリークラブ

の皆様へ厚くお礼申し上げます。

環境整備は学校を支える ～校務員研修会～



4 月 19 日（木）、市役所本庁舎で、平成 30 年度の第 1 回の校務員研修会が行われました。本市では、校務員を全小中学校に 1 名ずつ配置しています。

第 1 回の会議に当たり、自己紹介と共に、参加された校務員さん一人一人に思いを語っていただきました。

「孫のような子どもたちと毎日ふれあうことができて元気が出る」「子どもたちが喜んでくれればという思いで仕事をしている」「ガラス張りの教室前の草刈りは緊張で胃が痛むほど」「校長先生と一緒に、2 階の窓から松の高枝を剪定している」

「環境は人をつくる」という言葉のとおり、整った環境はそこで生活する人の心を落ち着かせます。ここにも、児童生徒の自立と共生を力強く支える、チーム多治見市教育委員会のメンバーがいます。

＜4 月の行事から＞

2 日（月）辞令交付式・転入教職員受入式
6 日（金）始業式・中学校入学式
9 日（月）小学校入学式
17 日（火）全国学力学習状況調査
小 6（国算理）中 3（国数理）と質問紙調査
20 日（金）多治見市教育研究会総会

＜5 月の行事から＞

8 日（火）青少年まちづくり市民会議理事会
19 日（土）多治見市 PTA 連合会定期大会
新役員紹介。活動計画報告。講演会
26 日（土）わがまち多治見大好き講座①
「美濃焼名人になろう」（38 名）